

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	56	学校名	仙台市立大野田小学校	校長名	石川 隆夫
------	----	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ



限りある資源にはどのようなものがあるかを学び、資源を再利用し、大気汚染を減らすにはどうした らよいかを考え、実際に使える道具を作りましょう。

2 取組の紹介

「こども環境教育出前講座」を特別支援学級の子どもたち（対象 17 名）が受けました。再生可能エネルギーの学習では難しい内容もありましたが、○×クイズで理解を深め子どもたち全員が先生のお話に耳を傾けました。

自然エネルギー体験では、ソーラーランタンを実際に作ったことにより、より知識を深めました。太陽光発電が身近なものと感じた子どもが多くいました。ソーラーランタンづくりでは、セロハン紙やマスキングテープ、シールなどを使ったり、ペンを使って絵を描いたりして個性豊かな作品を作りました。作ったものは、2週間後に全員で行った宿泊学習で太陽光発電が実際に行われるかの実験も兼ねて使いました。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

宿泊学習ではキャンドルファイヤーを行う部屋までの道をランタンで作り、明るすぎる電気よりも暖かい雰囲気の出るランタンで今まで経験したことのない、電気に感謝するキャンドルファイヤーを行いました。

その後の花火大会の道のりでも懐中電灯の代わりにランタンの明かりで移動をしました。子どもたちの個性が光る明かりに包まれて思い出に残る活動になりました。

学校生活に戻ってからも子どもたちは教室に誰もいなくなるときは電気を消しています。また、教室が寒くなったときは「エアコンの温度を上げて欲しいです。」教室が熱くなったときは「エアコンの温度を下げて欲しいです。」と声をかけることが多くなりました。限りある資源を大切に使うようにこれからもお互いに声をかけていきたいと思います。